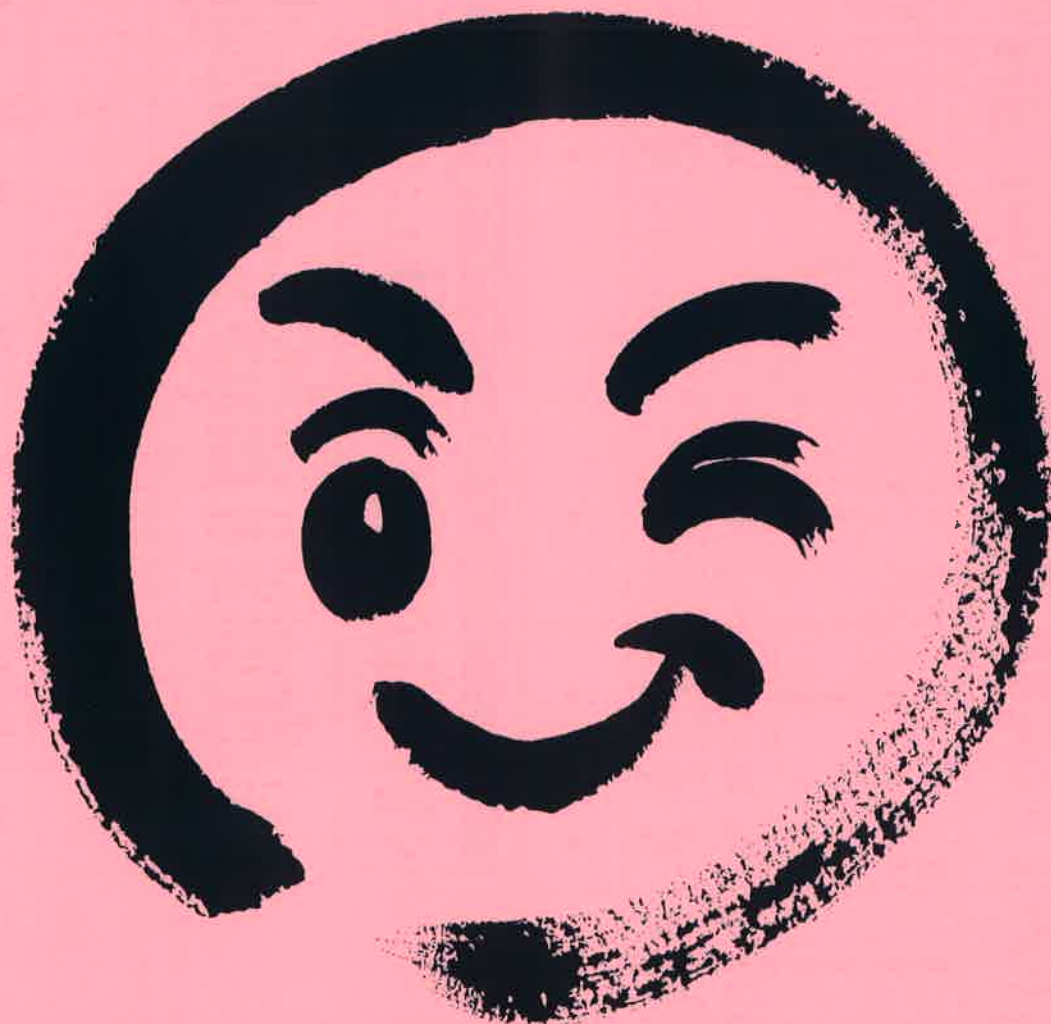


# うん、使える効きめだね



## 特長

### 1 幅広い 殺草スペクトラム

メヒシバ、スズメノカタビラ等のイネ科雑草およびアブラナ科、ナデシコ科等の多くの広葉雑草に優れた効果を示します。

### 2 幅広い作型に対応

ハウス栽培、トンネル栽培およびマルチ栽培でも使用できます。

### 3 優れた残効性

土壌吸着が強く、土壌移行性も少ないため挙動が安定しており、土壌表面処理により雑草の発生を長期間抑制します。

## 畑作用除草剤

作物いろいろ。雑草いろいろ。  
守備範囲の広いクレマートです。

# サンケイ クレマート<sup>®</sup> 乳剤・U粒剤

クレマートは住友化学(株)の登録商標

**乳剤** 有効成分/ブタミホス…50.0%

**U粒剤** 有効成分/ブタミホス…3.0%

サンケイクレマート乳剤

作物名	使用時期	10a当り使用量		適用雑草名	使用方法	本剤およびタマシホを含む農薬の総使用回数
		液量(ml)	希釈水量(l)			
レタス	定植前又は定植・マルチ前(雑草発生前)	200~400				
キャベツ						
はくさいひるしまなブロッコリー	定植前(雑草発生前)					
たまねぎ	春播栽培の定植後(雑草発生前)但し収穫60日前まで	200~400		100~150	一年生雑草	全面土壌散布
	秋播栽培の定植後(秋季の雑草発生前)但し収穫60日前まで					
	定植活苗後(雑草発生前)但し定植10日後まで					
ねぎわけきあざつき	定植活苗後(雑草発生前)但し定植10日後まで	200~400		100~150	一年生雑草	全面土壌散布
パセリ	は種後発芽前(雑草発生前)					
にんにく白つきよう	播付後萌芽前(雑草発生前)					
アスパラガス	萌芽前(雑草発生前)	200				
わらび	株養成期(地上部なし)(雑草発生前)					
うど	定植後出芽前(根株養成期)(雑草発生前)					
なす	定植前又は定植・マルチ前(雑草発生前)	200~400		100~150	一年生雑草	全面土壌散布
かぼちゃすいか漬物用すいかメロン漬物用メロン	定植・マルチ前(雑草発生前)					
いちごとうがらし類ピーマンとうがらん	定植前(雑草発生前)					
きゅうり		200				
にんじん	は種後発芽前(雑草発生前)	200~400		100~150	一年生雑草	全面土壌散布
ぼれいしょさといもやまのいも	播付後萌芽前(雑草発生前)					
こんにやく	播付後又は培土後(雑草発生前)但し収穫120日前まで					
らっかせい	は種後発芽前(雑草発生前)	200				
たばこ(折衷マルチ栽培)	播付10日前まで(雑草発生前)	200				
ケナフ	は種後出芽前	300~400				
グラジオラス	播付後(雑草発生前)	200~400		100~150	一年生雑草	全面土壌散布
きく(ポットマム)	定植後(雑草発生前)					
つつじ類	播付後又は生育期(雑草発生前)					

サンケイクレマートU粒剤

作物名	使用時期	10a当り使用量		適用雑草名	使用方法	本剤およびタマシホを含む農薬の総使用回数
		液量(ml)	希釈水量(l)			
キャベツ	定植前~定植直後(雑草発生前)	4~6		一年生雑草	全面土壌散布	1回
たまねぎ	春播栽培の定植後(雑草発生前)但し収穫60日前まで					
	秋播栽培の定植後又は春季の雑草発生前但し収穫60日前まで					
ねぎわけきあざつき	定植活苗後(雑草発生前)但し定植10日後まで	4~6		一年生雑草	全面土壌散布	1回
パセリ	は種後発芽前(雑草発生前)					
にんにく	播付後萌芽前(雑草発生前)					
にら	定植後(雑草発生前)但し定植10日後まで	3~5		一年生雑草	湛水散布	
せり	親株養成前(雑草発生前)					
すいか漬物用すいかメロン漬物用メロン	定植・マルチ前(雑草発生前)					
きゅうり	定植前(雑草発生前)	4~6		一年生雑草	全面土壌散布	1回
	定植後(雑草発生前)但し定植10日後まで					
トマト	定植活苗後(雑草発生前)但し定植10日後まで					
くわい	播付後出芽前(雑草発生前)	5		一年生雑草	全面土壌散布	1回
にんじん	は種後発芽前(雑草発生前)					
ぼれいしょさといもやまのいも	播付後萌芽前(雑草発生前)					
こんにやく	播付後又は培土後(雑草発生前)但し収穫120日前まで	4				
かんしょ	播付後又は培土後(雑草発生前)但し収穫120日前まで	4~6				
らっかせい	は種後発芽前(雑草発生前)	4~6				
たばこ(折衷マルチ栽培)	播付10日前まで(雑草発生前)	4				
霧	春季発芽前および夏季収穫後発芽前(雑草発生前)	8~10				
つつじ類	播付後又は生育期(雑草発生前)	4~6		一年生雑草	全面土壌散布	3回以内
さく	定植後(雑草発生前)					

2019年6月現在の登録内容

■使用上の注意事項

- (抜粋・詳細はラベルをご覧ください。)
- 使用量に合わせ薬液を調製または秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草発生前処理の効果は大きいですが既発生の雑草には効果が劣るので、必ず雑草発生前に全面に均一に散布してください。
- 多年生雑草、キク科雑草およびツユクサには効果が劣るので、それらが優占する圃場での使用はさけてください。
- 作物の生育中に散布する際はできるだけ薬剤が作物にかからないように注意してください。
- たばこに使用する場合、薬害を生じることがあるので、植付時に処理土壌が茎葉に接触しないように注意してください。また、トンネル栽培および改良畦間栽培では使用しないでください。
- 散布の際、付近の他の作物にかからないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



- 土壌が極度に乾燥している場合は効果が劣るので土壌が適度の水分を含んでいる時に使用してください。また極度の過湿条件下では薬害の出ることがあるので使用をさけてください。
- 播種又は植付後は砕土、整地、覆土はていねいに行い均一に散布してください。
- 砂質土壌では薬害を生じやすいので所定量の範囲内で少なめの薬量を使用してください。
- 定植前処理の場合、薬剤のかかった土壌が作物の根にふれないように注意して定植を行ってください。
- たまねぎに使用する場合、春先などの気温が高くなる時期の散布は薬害を生じるおそれがあるので十分に注意してください。
- 秋播たまねぎの春季処理は、薬害を生じるので使用しないよう十分注意してください。
- はくさいの場合、定植後に激しい降雨があると薬害を生じることがあるので処理時期に注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 水産動物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないよう構囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。



- 土壌が極度に乾燥している場合は効果が劣るので土壌が適度の水分を含んでいる時に使用してください。
- こんにやく、らっかせい、かんしょ等に使用する場合は、特に砕土、整地、覆土は、ていねいに行き均一に散布してください。
- 薬に使用する場合、薬害にかかると薬害を生じるので、給薬のない春季又は夏季収穫後の発芽前に散布してください。
- キャベツの定植直後に使用する場合は、次の注意を守ってください。
  - ・降雨または朝露等により葉面が濡れている状態では使用しないでください。
  - ・極端な深植えでは使用しないでください。
- くわい、せりに使用する場合、砂質土壌の水田や漏水田(減水深2cm/日以上)への使用はさけてください。また、散布後少なくとも7日間はそのまま湛水状態を保ち、落水、かけ流しはしないでください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

